

様式第3号（第7条関係）

事業計画書  
（松阪市収益力向上・賃上げ環境整備補助金）

事業名 （事業の概要）	ショベルカーの新規導入による自社施工体制の確立と生産性向上プロジェクト
松阪市内に所在のある本社、支社、営業所等の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 松阪市〇〇町〇〇
事業者の名称及び代表者役職・氏名	〇〇株式会社 代表取締役 松阪 太郎
連絡担当者	（部署）総務部 （氏名）〇〇 〇〇 （連絡先）電話 0598-〇〇-〇〇〇〇 F A X 0598-〇〇-〇〇〇〇 メール aaaaa@matsusaka.co.jp

1 申請者の概要

主たる業種	〇〇業	常時使用する従業員数	〇〇人
資本金又は出資金	〇〇〇万円	設立年月日	平成〇年〇月〇日

2 事業の目的、期待する効果

これまで自社でショベルカーを保有しておらず、地面を掘る作業のたびに外部の業者へ依頼、もしくは、レンタル機を手配していた。今回、自社で専用のショベルカーを導入し、以下の効果を目指す。

利益率の向上：外部に支払っていた外注費やレンタル料（年間約〇〇万円）を削減し、自社で作業を行うことで利益を直接確保する。

機動力の強化：「明日の急な現場」にも自社のショベルカーで即座に対応できる体制を作り、受注機会を高める。

賃上げの実現：外注費を減らして増えた利益を、従業員の給与の引き上げに還元。

### 3 事業の内容

#### 施工体制の内製化(自社施工への切り替え)

これまで重機レンタルや外注に依存していた掘削・整地工程を、新導入のショベルカーによる自社施工へ完全に切り替える。

#### 高効率な施工管理システムの構築

自社機の機動力を活かし、受注から着工までの待機時間を短縮する新たな工程管理フローを構築。急ぎの修繕案件にも対応可能な体制を整える。

#### 新規販路(小規模工事市場)の開拓

「自社機保有による迅速・低コストな施工」を強みとして、これまで採算が合わず断念していた小規模な駐車場整備など、新規ターゲット層へ向けた営業活動を展開する。

### 4 事業の成果目標 (数値等の定量的目標を記載)

外注費の削減: 重機レンタル代と掘削の外注費を、前年度より〇〇%以上減らす。

工期の短縮: 外注業者の都合を待つ時間がなくなるため、工事全体の期間を〇割短縮する。

売上目標: 自社で自由に動かせるショベルカーがあることで、年間〇件以上の新規案件を受注する。

賃上げ目標: 従業員の給料を前年度比で〇%アップさせる。

### 5 事業の実施スケジュール

事業の完了予定年月日	令和8年〇月〇日
事業の実施スケジュール	<p>4月【交付申請】申請書を提出。</p> <p>4月下旬【交付決定・発注】交付決定通知受領後、速やかにショベルカーを正式発注。</p> <p>6月【準備】ショベルカーを置くスペースの確保。操作担当者の選定。</p> <p>7月【納車・初稼働】ショベルカー納入。実際の現場で使い始める。</p> <p>8月【自社施工】外部に頼んでいた作業を自社ショベルカーに切り替えていく</p> <p>9月【営業強化】「自社機があるので早く着工できる」ことをアピールし営業。</p> <p>10月～11月【効果の確認】浮いた外注費や作業時間のデータを整理。</p> <p>12月【実績報告】事業費の支払い完了。従業員の給料を引き上げる。市へ実績報告書を提出。</p>

## 6. 賃金引き上げ計画

### 賃金引き上げ対象従業員及び基本情報

従業員氏名	生年月日	採用年月日	賃金比較月	賃金（時間給換算額）
〇〇 〇〇	昭和〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	令和 8 年〇月	〇〇〇〇円
			令和 年 月	円
			令和 年 月	円

※ 賃上げ計画として賃上げを予定する従業員について記載すること。（全員を記載する必要はありません。）

※ 賃金比較月は令和7年4月1日以降に実施した直近の賃上げ実施時点、もしくは、令和7年4月1日のいずれか遅い時点を記載

※ 実績報告時に当計画時点賃金と賃上げ後賃金を比較します。